

令和2年度第2回一関地区広域行政組合舞川清掃センター運営委員会会議録

- 1 会議名 令和2年度第2回一関地区広域行政組合舞川清掃センター運営委員会
- 2 開催日時 令和2年10月23日（金）午後6時30分から午後7時45分まで
- 3 開催場所 舞川清掃センター2階会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 佐藤儀幸会長、氏家明副会長、氏家卓夫委員、氏家利明委員、氏家弘委員、千葉一美委員、小野寺光徳委員、吉家東男委員、熊谷典男委員、熊谷豊委員、石川誠委員、熊谷秀雄委員
 - (2) 事務局 村上秀昭事務局長、小野寺正行一関清掃センター所長、小野寺永門一関清掃センター副所長兼施設第1係長、千葉聖也技師

5 議 事

- (1) 焼却灰の溶出試験結果について
- (2) 沢水、井戸水の水質検査結果について
- (3) 舞川清掃センター周辺住民健康診断について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 なし

8 あいさつ（事務局長）

本日の運営委員会は、議事の内容について説明するので、率直なご質問やご意見をお願いしたい。

9 協議内容

- (1) 焼却灰の溶出試験結果について
会議資料により事務局が説明を行った。

（質疑応答）

事務局 今後も毎月の測定を続けるのか、これまでどおりの測定頻度に戻すのかご意見いただきたい。

委員 数値が安定しているため、これまでどおりの測定頻度で良いのではないか。

委員 基準があるものについては最低でも年2回の測定をやるべきだと思う。

事務局 焼却灰の測定については年2回測定を行っている。

委員 測定を行わないという選択肢はないのか。

事務局 測定は毎年行っているため、測定を行わないということは考えていない。

委員 他に意見がないようなので、これまでどおり年2回の測定でお願いしたい。

委員 焼却灰の埋立て場所については、明確にしておいてもらいたい。

事務局 ピンポイントで目印をつけるのは難しいが、現在も埋立て場所には目印として杭を打っているため、今後も引き続き行うということで承知した。

(2) 沢水、井戸水の水質検査結果について

会議資料により事務局が説明を行った。

(質疑応答)

委員 処分場の遮水シートの劣化で、未処理の水が漏れるということも無いとは言えないため、安全確認のため年1回程度測定をした方が良いと思う。

委員 沈砂池には処分場の水は含まれているのか。

事務局 沈砂池には処分場の水は含まれていない。

委員 (1)の測定同様に年2回程度測定をしてもらいたい。

委員 沢水と井戸水の測定は、それぞれ別の測定業者なのか。

事務局 同じ業者で測定を行った。

委員 測定費用については国からもらえるのか。

事務局 測定費用は組合の負担となる。

事務局 安心のためには測定が必要であると考えているが、測定の頻度については検討させていただく。

委員 放流水に異常があったときには測定を行うのか。

事務局 そうである。

委員 焼却灰の測定と併せて、沢水、井戸水のサンプリングをしてもらえれば良いと思うので、年2回の測定をお願いしたい。

委員 放流水、流入水はどこからサンプリングを行うのか。

事務局 当施設の1階の処理棟からサンプリングをしている。

委員 先ほど説明いただいた放流水の基準と、施設に掲示してあるフロー図に記載の基準が違っているのはなぜか。

事務局 フロー図に記載の基準は、施設稼働当初の基準と思われる。次回までに調べて回答したい。

(3) 舞川清掃センター周辺住民健康診断について

会議資料により事務局が説明を行った。

(質疑応答)

委員 案1の場合、封筒に宛名がないと回覧したときに文書を受け取らない世帯があったり、文書が回ってきたときに内容を理解できず、受け取らずに回覧したりする世帯もあった。個人情報の問題で案2では難しいところがあるため、案

1で全世帯に受け取ってもらえるよう、内容を工夫すれば良いと思う。

委員 案2だと個人情報で班内で知れ渡る心配があるため、案1が良いと思う。

事務局 案1を採用して封筒に宛先を記載するなど、申し込みの有無にかかわらず、各世帯に受け取ってもらえるように工夫したい。

委員 申込書には提出期限も記載するのか。

事務局 回覧の際には記載する。

委員 広報の配布に合わせて今回の文書も回覧したいので、配布時期を考慮して事前に文書をいただけると助かる。

事務局 承知した。

10 その他

なし

11 担当課 一関清掃センター